

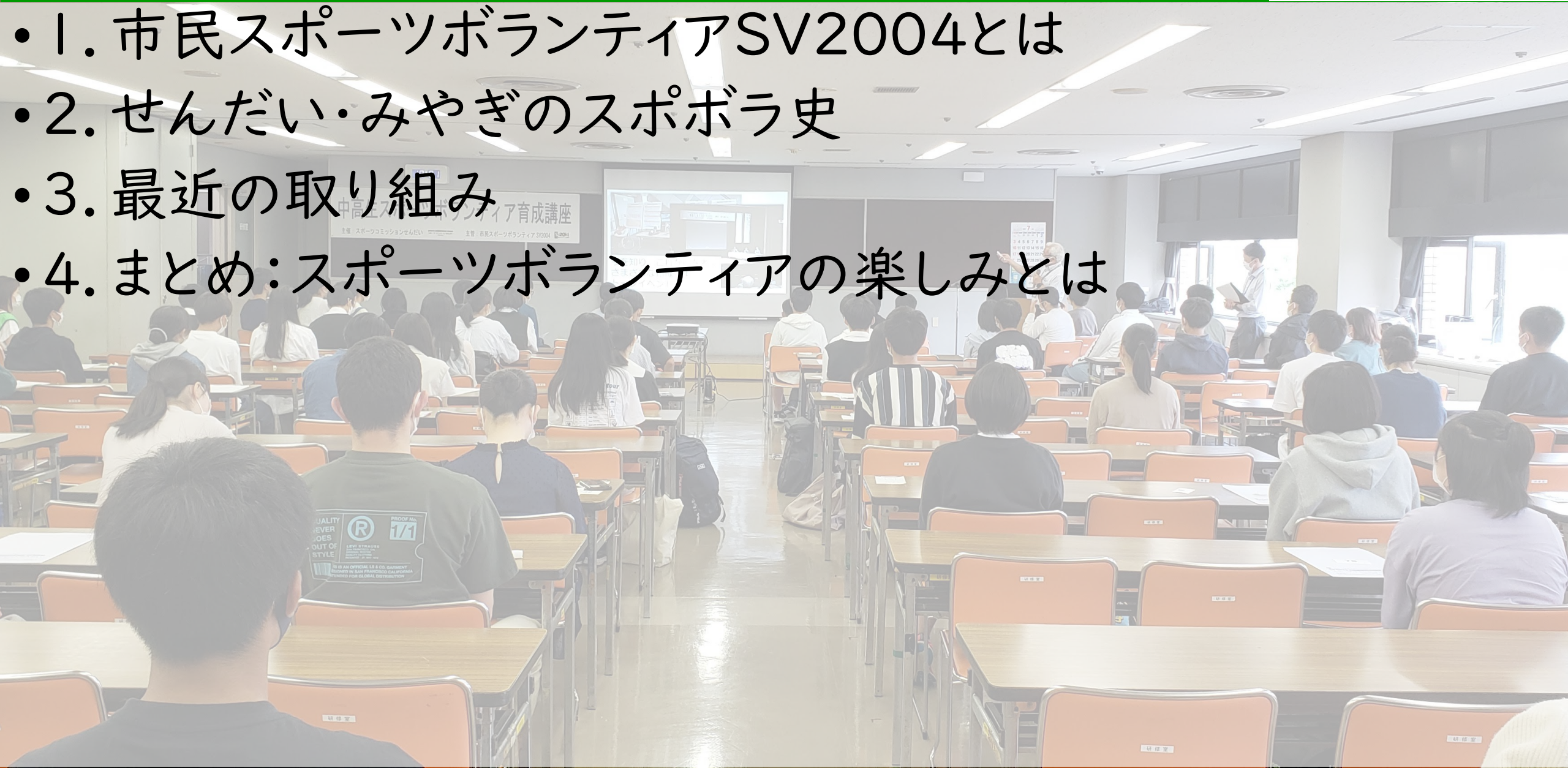
# 市民スポーツボランティア SV2004について

令和4年度学びの還元(ボランティア)研修会  
令和4年11月26日(日) 14:00 ~ 17:00  
@カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)研修室  
市民スポーツボランティアSV2004 佐藤 司



# 本日の流れ

- 1. 市民スポーツボランティアSV2004とは
- 2. せんだい・みやぎのスポボラ史
- 3. 最近の取り組み
- 4. まとめ:スポーツボランティアの楽しみとは



# 1. 市民スポーツボランティアSV2004とは①自己紹介

2010年3月



（左内うちあわせにて指示を出す佐藤さん）

③活動をしたい心にかけている  
ことや工夫していることなどは、  
来場して下さったお客様  
楽しんでいただくことを心

忘れもしない！2007年3月18日、4月からの新生活に向けて、この日が最後の参加となったホームゲームの開催前に、コート上で卒業式をしてくださいました。中村GM・高校の先輩にあたる松田選手からの温かい感謝の言葉や、多くのボランティアスタッフ、89ERSチアーズも集合して撮った記念写真は今でも宝物です。

①ボランティア活動をすることをきくか？  
小・中高と野球部に所属、特に高校時代のマネージャーの経験を通して「支えること」の楽しさを実感したことがきっかけです。私が大学3年生時に誕生した東北楽天ゴールデンイーグルスの活動に始まり、その後誕生した89ERSの活動も参加していますので、活動歴は今年で4シーズン目です。  
②活動をしていての喜び・嬉しかったことは？



89ERS ボランティア さとう つかさ 佐藤 司 さん

我が街  
ボランティア  
突撃隊  
あの人に会いに  
いつてきました！

④今後の目標や意気込みは？  
私が大学時代に「ボランティア活動について調査したところ、やらなくてはいけないと思っただけでも、きつかけがないという声が多くあるという結果でした。仙台市は活動の機会が多く転がっていますし、多世代の中で活動すること、自分の考えや意見の出し方を学べる貴重な場となりまます。ですから、もっと多くの若者や学生が参加できるようにきつかけを作る架け橋になればと思っています。



ハーフタイム中にこのの旗を掲げ

## 仙台89ERS公式ブログ



2007.03.20 Tuesday

author: sendai89ers

### CALENDAR

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
<< March 2007 >>						

### 【ボランティア】卒業式

仙台89ERSのホームゲームは、昨シーズンから多くのボランティアスタッフのみなさんご協力のもとに運営されています。

18日(日)の開催前に、1人のボランティアスタッフの卒業式をコート上で行ないました。昨シーズン唯一の皆勤賞、今シーズンも先日の18日まで全て参加されている佐藤さんです。

佐藤さんは89ERSボランティアとして最多参加を誇る、「ボランティアの顔」のような存在。4月からの新生活に向けてこの日(18日)が最後の参加となりました。



中村GMと高校の先輩にあたる松田選手から感謝の気持ちをお伝えしました。佐藤さん、今まで本当にありがとうございました！

佐藤さんを囲んで、中村GM、松田選手、ボランティアスタッフ、89ERSチアーズが集合。



### SELECTED ENTRIES

- 【ボランティア】卒業式 (03/20)

### CATEGORIES

- 練習 (5)
- クリニック (3)
- 記者会見 (1)
- 表敬訪問 (1)
- イベント (10)
- 学校訪問 (2)
- 講演 (1)
- メディア (1)
- 観光PR (6)
- 突撃インタビュー (7)
- 89ERS PRESS (9)
- キッズスマイルプロジェクト (25)
- 2011-2012シーズン (108)
- 2010-2011シーズン (227)
- 2009-2010シーズン (82)
- 2008-2009シーズン (134)
- 2007-2008シーズン (194)
- 2006-2007シーズン (222)
- 2005-2006シーズン (37)

### ARCHIVES

- March 2013 (1)
- February 2013 (1)
- January 2013 (4)
- December 2012 (2)
- November 2012 (5)
- October 2012 (10)
- September 2012 (8)

佐藤 司。仙台市出身・在住。【SV】18年目(2005年～現在)。JSVNスポーツボランティア・リーダー。【仕事】尚絅学院大学職員(総合型地域スポーツクラブ・地域連携交流プラザ・探究型学習担当)。【市民活動等】震災追悼・中堅若手協働まちづくり・環境活動・大学職員活動等。社会人大学院生。

# 1. 市民スポーツボランティアSV2004とは②団体紹介



## 誕生の経緯

SVとは、文字通り「スポーツボランティア」の略であり、1998年からスタートした「ブランメル仙台（現在のベガルタ仙台）」のボランティアや2001年の国体、2002年のワールドカップ宮城大会のボランティア経験者の有志が集まり、幅広いスポーツをボランティアとしてサポートする目的で2004年に発足しました。

## 役割（ミッション）

スポーツをより楽しくコーディネートし、ネットワークを通じて、環境改善にも取り組むことで、スポーツの振興と、スポーツに関わる人々の社会的認知を高めることに貢献します。

- 私たちはスポーツのボランティア活動は「楽しく」あるべきだと思います
- そのため、ボランティアと運営組織、ボランティア同士のコミュニケーションを大切にします。
- 活動するボランティア環境の改善、そしてエコ活動にも取り組みます
- サポートするイベントが継続しよりよいものになるようサポートします
- スポーツボランティアの活動が多くの人に理解され知っていただけるよう活動します

## 活動（アクション）

私たち市民スポーツボランティアSV2004の活動

### ○スポーツイベント運営の支援

募集・運営説明会・マニュアル作成・報告書まとめまで主催者をサポート

### ○レベルアップのための企画・研修

救命や防災・エコ活動・入門からリーダーの研修、スポーツの勉強会等

### ○快適な観戦と未来のためのエコ活動

仙台方式といわれる共通のごみ分別

### ○全国の仲間との交流

経験を共有し、ともに地域のスポーツを応援する

### ○ボランティアの情報発信と記録

SVだより・活動報告・ボランティアハンドブック



# 1. 市民スポーツボランティアSV2004とは③人数の変遷



## 仙台・宮城の全体のSV推移

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
延登録者	580	570	577	570	556	506
延活動者	6,240	6,244	6,556	6,811	2,868	3,905

※数値は市民スポーツボランティアSV2004聞き取り調べ

## 仙台・宮城のSV:近年の傾向

- ・プロスポーツのボランティア登録者数は、ほぼ横ばい。
- ・単発型スポーツイベントのボランティア活動者数が年々増加。
- ・登録者、活動者ともに、コロナ禍により一転して減少。
- ・SV会員はコロナの影響をほとんど受けていない!

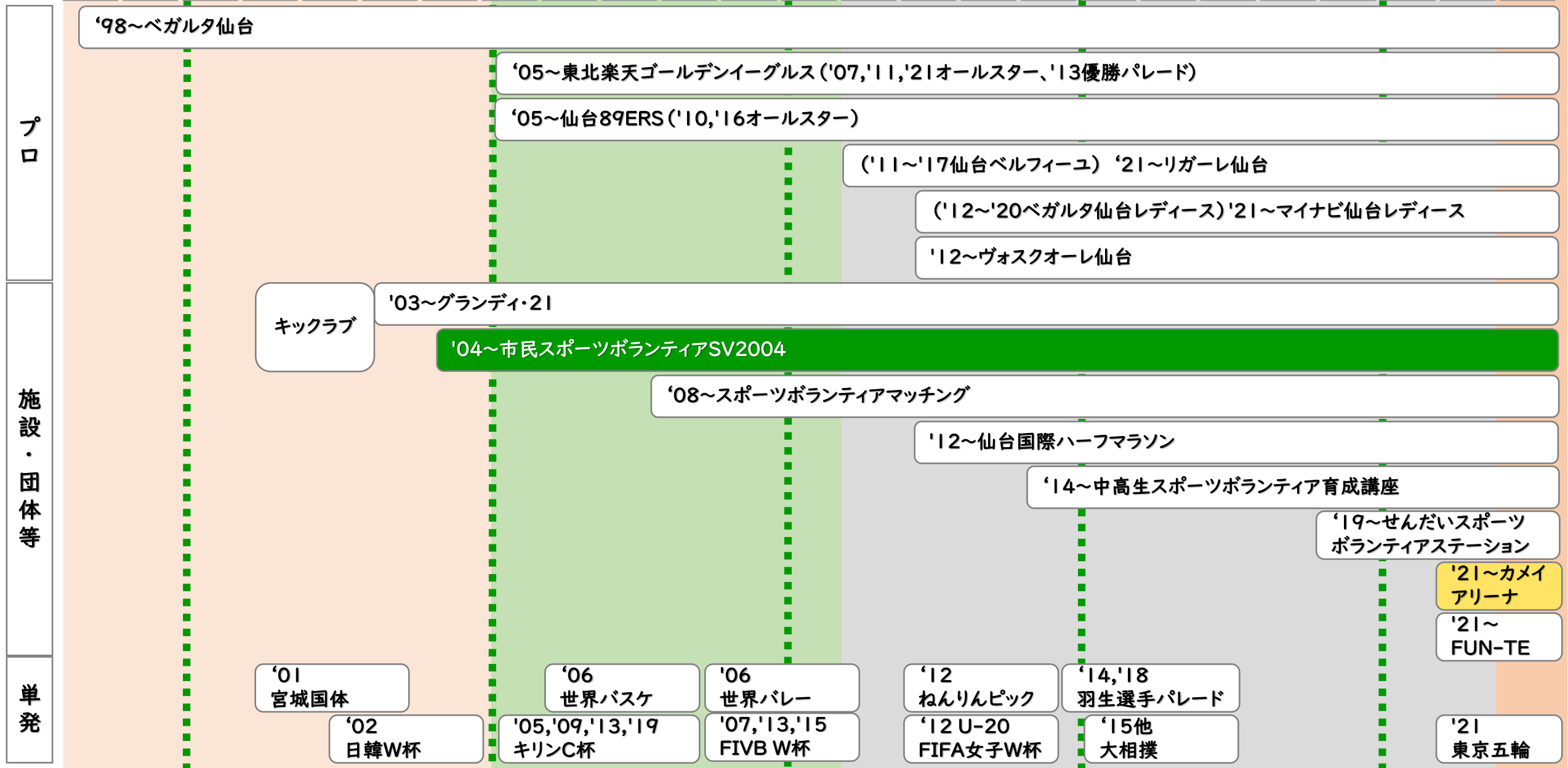
## SV2004の会員推移

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
正会員	30	37	35	40	42	59	64	72	77	81	97	112	117	127	127	132
サポート	1	3	2	5	4	3	3	3	4	5	6	3	7	7	6	7
準会員										5	5	6	13	13	11	11
合計	31	40	37	45	46	62	67	75	81	91	108	121	137	147	144	150

※2022年データは、2022/9/30時点

# 2. せんだい・みやぎのスポボラ史①全史

'98 > '99 > '00 > '01 > '02 > '03 > '04 > '05 > '06 > '07 > '08 > '09 > '10 > '11 > '12 > '13 > '14 > '15 > '16 > '17 > '18 > '19 > '20 > '21 > '22



## 2. せんだい・みやぎのスポボラ史②黎明期

1998年、ベガルタ仙台ボランティア活動開始  
それは、チームを無くさないという思いから始まった



横浜フリューゲルス

メインスポンサーの撤退により、マリノスとの合併発表後一度も負けることなく、天皇杯で優勝したにもかかわらずチームが消滅するという現実



★ 外から市民が支える組織として1999年、「ベガルタ仙台市民後援会」も発足

2001年 宮城国体 3万人  
2002年 日韓ワールドカップ 3千人



ボランティア経験者が増加した

ポイントとなった第3のボランティア活動 (W-Cup)

1. 大会ボランティア
2. 開催地ボランティア(都市ボランティア)

そして、

「キックラブ」という、組織委員会公認の市民ボランティア組織  
(目的は開催周知と機運醸成)

自ら考え、企画し運営する経験が蓄積



生まれたふたつの  
ボランティア組織

2003年  
グランディ・21ボランティア

ワールドカップ宮城大会の会場となった宮城スタジアムを拠点とする施設型のボランティア組織であり、現在も案内・大型映像装置などを担当(宮城県と連携)

2004年  
市民スポーツボランティア  
SV2004

仙台市を拠点とする市民有志による、幅広いスポーツサポートを目的とした組織(仙台市やスポーツ団体と連携)

## 2. せんだい・みやぎのスポボラ史③発展期

2005年～ 新しい活動とともに



プロ野球ではじめてのボランティア制度  
⇒ 現在は「広島・日ハム・千葉ロッテ」へと拡大



bjリーグ誕生に合わせボランティア誕生  
⇒ ゲーム運営とチーム支援に限定した活動



それぞれに「官民一体型」の支援組織が発足  
楽天イーグルス・マイチーム協議会 / 仙台89ERSホームタウン協議会



仙台方式  
エコステーション

ベガルタ仙台・東北楽天ゴールデンイーグルス・仙台89ERSで  
統一して試合会場のゴミ回収を  
「エコステーション」として同じ活動を行う。  
その後も、他のスポーツイベント等に展開するが、  
仙台のスポーツボランティアの「形」が完成した。



# 2. せんだい・みやぎのスポボラ史④復興期

## 東日本大震災

2011年 ～ スポーツで笑顔を未来へ

- 3つの活動目標 キーワードは「子ども・笑顔・身の丈の支援」
1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動を行います。
  2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
  3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動を行います。
- 2011年5月 緊急 東北スポーツボランティアサミット宣言

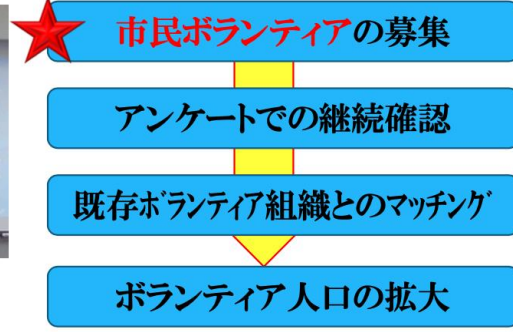
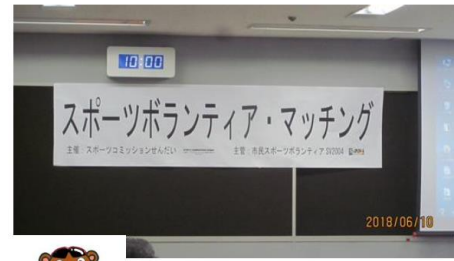


自分たちや周囲の  
笑顔のための  
ささえるスポーツ

それまでのプロスポーツの  
ボランティアだけでなく、  
市民スポーツや女子スポーツ、  
次世代のボランティア育成へ



### 2012年 市民ランナーに開放された「仙台国際ハーフ」マラソン



### 2014年から開催している 中高生スポーツボランティア育成講座

#### ☆ 体験者の声 (楽しさと活動の意義)

- ・エコ活動の意義を感じる事ができた
- ・年の離れた方々と接することが楽しかった
- ・主催者と観客を想いでつなげていると感じた
- ・復興への想いを感じられた
- ・安全で快適な場を作ることが出来た
- ・参加しサポートしたチームが勝つてうれしかった
- ・みんなで助け合って活動できた
- ・仲間のボランティアの笑顔と楽しさ
- ・お客様から「ありがとう」といわれた





スポーツボランティアで仙台を盛り上げよう

# せんだいスポーツ ボランティアステーション

ささえるスポーツから、ささえあい、活かしかうスポーツへ



# 3. 最近の取組①公共空間を活用したD&I推進PJ

公共空間



するスポーツ

様々なところで、  
様々な人とスポーツを  
することができる  
まちづくり



Tohoku Forum for Creativity  
Future Society Design Program 2022

### 公共空間を活用した ダイバーシティ&インクルージョン 推進プロジェクト

～パブリックスペースにおけるポッチャ体験モデルの確立に向けて～  
2022.5 → 2023.3

www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/1000.html

**イベント**  
□ キックオフワークショップ (2022年5月29日)  
□ 社会実験：公共空間におけるポッチャ体験会  
□ とりまとめワークショップ (2022年度後期)

**オーガナイザー**  
柳手良典(東北大学) 青木一史(NEC) 藤田和雄(公益社団法人SV2004) 伊藤清博(公益社団法人宮城県障がい者福祉協会) 嵯峨 聖之(経済科学大学)  
片岡正樹(大船体大学) 小林 豊樹(一般社団法人 高松市障がい者福祉会) 藤原 暁( NPO法人 都市デザインワークス) 関口 亜貴(公益社団法人 日本財団 ハラスメントセンター)  
武田 均(公益社団法人 仙台市スポーツ振興事業団 福祉) 坪原 和洋(東北大学) 水宮 良一(東北大学) 長谷川 隆三(株式会社フロンティア) 藤田 一郎(東北大学)  
堀江 佑典(和研株式会社) 松村 孝典(東北大学) 三浦 輝子(一般社団法人日本ポッチャ協会)

Premium Sponsor TEL Gold Sponsor

Tohoku Forum for Creativity www.tfc.tohoku.ac.jp



# 3. 最近の取組②センサリールーム

感覚過敏



みるスポーツ



試合観戦したい人に  
配慮した環境づくり

### 3. 最近の取組③マイナビ仙台レディース「応援花」

得意なことを活かし、  
試合会場内で、  
チームカラーの花を  
飾る活動



生け花



ささえるスポーツ

## 4. まとめ：スポーツボランティアの楽しみとは

### スポーツボランティアの楽しみは、ボランティアの数だけある

人や地域、何かや誰かの役に立てます  
(社会貢献)

世代を超えた仲間が生まれます  
(交流・ネットワークづくり)

共通の目標を達成する喜びがあります  
(達成感)

それぞれの持つスキルが活かされます  
(能力発揮・創造)

何よりささえるスポーツが好きになります  
(愛着・応援)  
→ 勝利や優勝などを共に体験できます

そして、ささえあう関係は感謝しあい、  
楽しみを分かちあう関係につながります

ご清聴ありがとうございました。

